

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道112号 酒田南拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	山形県
起終点	自：山形県酒田市高見台 至：山形県酒田市若竹町	延長	2.1 km		
事業概要	一般国道112号は、山形県山形市を起点とし、山形県酒田市に至る延長約167kmの幹線道路である。酒田南拡幅は、酒田市中心市街地の主要渋滞ポイントである出羽大橋交差点の渋滞解消を図ることを目的とした4車線道路の整備である。				
H7年度事業化	H2都市計画決定	H8年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	170億円	事業進捗率	53%	供用済延長	0.5km
計画交通量	28,500台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 3.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 74/169億円 事業費：72/166億円 維持管理費：2/3億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 256/335億円 走行時間短縮便益：231/306億円 走行費用減少便益：21/27億円 交通事故減少便益：4/2億円	基準年	平成16年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（主要渋滞ポイント(出羽大橋交差点)の解消が図られる） 災害への備え（災害時の円滑な復旧活動を支援する） <p style="text-align: right;">他7項目に該当</p>				
関係する地方公共団体等の意見	一般国道112号酒田南拡幅は、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、酒田市をはじめとする庄内一円の市町村、議会等からなる庄内開発協議会から山形県庄内地方重要事業の要望書を平成16年6月に受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	地震発生後の緊急輸送を確保するための効率的な地震対策の推進を図る目的として、「山形県道路防災・情報連絡協議会」において平成9年1月に緊急輸送道路ネットワーク計画を策定し、当該路線は緊急輸送道路に指定され、路線として重要性が高まった。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成16年度に右岸側(L=0.5km)が部分供用する予定で、平成16年度までの進捗率は用地が97%、工事が約41%である。主な残事業は、新出羽大橋の上部工、下部工1基および左岸側の改良舗装が残っている。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	港南小学校前交差点区間の用地取得に時間を要し、事業の進捗に遅れが生じたが、平成17年度に用地買収が完了する予定であり、今後は、残る区間(L=1.6km)の早期完成を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	最上川を渡河する出羽大橋について、新しいタイプのゴム支承(改質ゴムの使用)の導入により、コスト縮減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。